仙北市病院事業会計

経営健全化計画実施状況報告(概要)

１　計画と具体的な措置の状況

令和８年３月の計画策定前から経営改善の取組を行ったが、令和７年度決算は経常収支の赤字額が前年度に比べて 30,994 千円増加し、資金不足額も増加する結果となった。しかし、資金不足額は経営健全化計画での想定より若干の改善が見られた。

（１）収益の確保

【市立田沢湖病院】

・入院患者の増（一日平均 35.2 人→39.8 人）による増収（＋40,500 千円）

※マイナス要因

・外来患者の減（一日平均 102.2 人→100.1 人）による減収（▲4,400 千円）

【市立角館総合病院】

・外来患者の増（一日平均 408.6 人→413.5 人）による増収（＋7,600 千円）

・内視鏡検査等の検査受入人数の増に伴う増収（＋4,000 千円）

・病棟再編により回復期リハビリ病床を地域包括ケア病床に一本化したことに伴う入院診療単価の増による増収（＋4,800 千円）

※マイナス要因

・入院患者の減（一日平均 123.6 人→122.5 人）による減収（▲16,300 千円）

・急性期一般入院料の変更による減収（▲47,300 千円）

（２）費用の削減

【市立田沢湖病院】

・非常勤医師による宿日直回数の減（▲4,900 千円）

・非常勤医師による内視鏡検査等の回数の減（▲5,300 千円）

・事務職員退職者（１名）の不補充による人件費の減（▲1,500 千円）

※マイナス要因

・給与等の引上げによる人件費の増（＋37,000 千円）

・医師の増員（１名）による人件費の増（＋19,000 千円）

・給食材料費の増（＋2,400 千円）

・一時借入金の増加に伴う支払利息の増（＋2,300 千円）

【市立角館総合病院】

・病棟再編（一般病床 170→152）に伴う夜間看護師配置の減少による人件費の減（▲4,000 千円）。

・市長部局及び田沢湖病院への異動職員（看護師４名）及び退職職員（技能職員１名）の不補充による人件費の減（▲20,800 千円）

・研修医（２名）の削減（▲25,900 千円）

・県外非常勤医師による宿日直回数の減（▲3,300 千円）

・施設の維持管理に係る委託料の減（▲4,700 千円）

※マイナス要因

・給与等の引上げによる人件費の増（＋114,200 千円）

・材料費の増（＋16,500 千円）

・医療機器及びシステムの保守料・利用料の増（＋14,300 千円）

・重油価格の上昇による経費の増（＋2,300 千円）

・一時借入金の増加及び利率見直しによる支払利息の増（＋10,700 千円）

（３）その他

・医療機関等における賃上げ・物価上昇に対する支援事業費補助金の皆増（田沢湖＋16,700 千円　角館＋50,100 千円）

・秋田県病床適正化支援事業費補助金の皆増（角館のみ＋69,700 千円）

・このほか、企業債償還金の増加により資本的収支の不足額が前年度に比べて増加した（▲63,718 千円）。

・一般会計からの繰入金総額は令和６年度と同額に据え置き（11 億円）

２　資金不足額解消の状況

（単位：千円）

年度／区分	計画初年度の前年度	計画初年度（令和７年度）	令和８年度（第２年度）	令和９年度（第３年度）	令和 10 年度（第４年度）
当初計画　A		▲ 812,642	793,621	490,937	203,574
解消実績額　B		▲ 720,707	―	―	―
現在計画　C		―	793,621	490,937	203,574
B-A 又は C-A		91,935	0	0	0
資金不足額	1,327,850	2,048,557	1,254,936	763,999	560,425

「現在計画　C」とは、将来の各年度における資金不足額の解消見込額を報告時点で示したものである。

３　資金不足比率の状況

（単位：%）

年度／区分	計画初年度の前年度	計画初年度（令和７年度）		令和８年度（第２年度）	令和９年度（第３年度）	令和 10 年度（第４年度）
	実績値	計画値	実績値	計画値	計画値	計画値
資金不足比率	35.1	57.9	55.0	34.4	21.2	18.3

４　その他経営の健全化に必要な事項の措置の状況

・令和８年３月下旬に職員向けに経営健全化計画の説明会を実施し、同計画に関する情報共有と意見聴取を行うとともに、経営改善に向けた意識の醸成を図った。